

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴 (貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する)

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

デイケア体験

1月12日、精神療養病棟の患者さんを対象に、社会復帰訓練として、デイケアで日中を過ごす『デイケア体験』を実施しました。この体験では、毎回午前中にその日の昼食を自分たちで準備をします。今回のメニューは、前月みんなで話し合った『おでん』『炊き込みごはん』『さつまいもサラダ』です。おでんとさつまいもサラダには、当院の畑で育て収穫した大根とさつまいもを使用しました。どちらも立派な出来だったので、みんな皮むきや輪切りに悪戦苦闘しながらの調理でした。13人分のおでんを煮込んだ大鍋がコンロに並び、おいしそうな匂いが食堂を包んでいました。寒い冬の日食べるおでんは格別で、患者さんからは「もっと食べたかった」「給食でもおでんが出てほしいな」との感想が聞かれました。体験では、患者さんが退院したあとに自分でごはんの準備が出来るように、出来るだけ簡単に調理が出来るようなやり方を取り入れるようにしています。今回も農園の野菜以外は、温めれば食べられるおでんパックや炊飯時に一緒に入れて炊く炊き込みごはんの素を使用しました。今後もお弁当やインスタント品、レンジ調理を活用し、患者さんが手間をかけずにおいしい食事がとれるような技術や方法を身に付けられるように援助していこうと思います。



デイケア体験でのメニュー

節分行事



節分行事で使用した鬼の的当て

未だ寒さが体にこたえる日が続く中、当院作業療法では節分行事を各病棟で開催致しました。認知症治療病棟では『厄払いをイメージした的当て』。精神療養病棟、一般病棟では、『実物の大豆等を用いた豆運び』といった、参加した患者さんへ、節分であることを意識していただけるような、小道具を準備して行いました。現在、感染症が広まりやすい時期である中、今回の行事の目的である「厄を払う」という意味も含め、入院患者の方々には、今年一年これから平穏無事に過ごしていただけるよう願う次第です。



デイケア初詣



デイケアの利用者と担当スタッフで、1月18日に「防府天満宮」に初詣に参りました。新型コロナの影響で、4年ぶりの初詣となりました。当日の天候が雨ということもあり、露店も閉まっております参拝者もまばらで、大変静かな初詣となりました。境内に、最近亡くなられた八代亜紀さんの「なみだ恋」の句碑があり、その前で記念撮影をしました。梅の花も咲き始めており、悪天候の中ではありましたが天神山の多くのビュースポットの散策もできました。



参拝前に、まず身を清めて



どんど焼き



1月21日（日）に当院グラウンドにてどんど焼きを行いました。病院の受付に飾ってあった鏡餅、玄関で迎えてくれた門松などの、仕事を終えた飾りたちと患者さんが書かれた習字や絵画等を一緒に燃やす事で、皆さんの今年1年間の無病息災を祈願いたしました。天気が不安定で雨が降りそうな気配もありましたが、焼くときには天気に恵まれ、炎を絶やすことなく無事に行う事が出来ました。



当院グラウンドにて

編集後記 『開運招福豆まき』

防府市には、菅原道真公が祀られている防府天満宮があります。毎年節分祭には、その年の年男・年女による『開運招福豆まき』で参拝者をわかせています。今年は辰年の年男である水津信之院長が、奉仕者として参加いたしました。

菅原道真公が牛年であったことから、「鬼は外、福は『牛』！」という独特な掛け声で、院長も大勢の参拝者に向かって豆まきを行いました。



豆まき時の院長